

いわたスポーツプラットフォーム第1回講演会を開催しました

約50社100人が一堂に会して始動

令和7年1月30日(木)に、プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政など、スポーツをテーマにした取組に関心のある様々な関係者が、市内外から一堂に会して「いわたスポーツプラットフォーム」が始動しました。その第一弾として磐田商工会議所を会場に、講演会を開催しました。

五郎丸歩氏による取組発表

地方都市の人口減少や少子高齢化、地球温暖化など多くの社会課題を抱える今だからこそ、それぞれの立場で最大限実現可能なアクションを起こし地域の発展・活性化の力となるよう、一般社団法人 Future Innovation Labを設立し、磐田市を拠点に活動しています。2025年11月には「Iwata Seaside Dream Fes 2025」の開催を予定するなど、今後の活動予定についても語っていただきました。

荒井daze善正氏による取組発表

血液難病の慢性活動性 EBウイルス感染症を患い余命宣告を受け唯一の治療法「骨髄移植」により命を救われプロスノーボーダーとして復帰しました。一般社団法人SNOWBANKを設立し【スノーボード×献血×骨髄バンク】を絡めたイベント「東京雪祭」や様々なイベントを実施して献血・骨髄バンクドナー登録者を増やす活動を全国展開されている思いや今後の展望について語っていただきました。

講師2名と市長による対談や参加者との意見交換

講師2名と磐田市長は講演で語った内容をさらに深めて、「スポーツの持つ力・可能性」について対談しました。参加者から「スポーツ×異分野」でやってみたいことや課題などの率直な意見について、講師2名から経験や思いに基づき答えるなど、和やかな雰囲気の中で参加者とも対話をしました。

共創で新たな価値の創出へ

磐田市は、プロスポーツチーム、企業、金融機関、団体、大学、行政など、スポーツをテーマにした取組に関心のある様々な関係者が互いにつながる機会をつくっていきます。『スポーツ×異分野』の掛け合わせによって生まれる多様な価値や可能性を共有し、地域課題や社会課題の解決に取り組むことにより、「スポーツ」を核にしたまちづくりを推進します。

